

第 16 回文福総会報告

さる 6 月 16 日の土曜日にサンシップにて 16 回目の総会が開催されました。

午前の部の総会の議題は前年度の各部門の報告や決算、今年度の計画・方針と予算等で、八木理事長の総論を兼ねた開会のあいさつから始まり、障害者部会・介護人派遣事業・福祉と人権の学習会・レク部夢宙人・情報提供の各部の報告がありました。

このあと、定款の変更の報告があり、貸借対照表についてはインターネット公表ですということになりました。会計報告もありました。

質疑応答では、入院時も重度訪問介護が使えるようになったという話がありました。

採決は運営会員の人数 36 人中委任状 9 人、過半数 19 人のところ、全員が手を上げられ承認の運びとなりました。

午後の講演会は、「障害者の昔を知り、今を学ぼう」をテーマに富山市身体障害者協会事務局長の大西貞夫さんにお話をいただきました。生い立ちから制度のことまでユーモアを交えながら「障害者はもっと声を上げていかないといけない」などのお話をされました。

当日は一般の参加者が少なく、寂しい感じがしました。

(文責 森田)



総会の様子



大西貞夫氏

ザ☆カイジヨ報告

先日、県指定 重度訪問介護従事者養成研修「ザ☆カイジヨ」を 2 回にわたり、基礎課程が 6 月 30 日（土）・7 月 1 日（日）、追加課程が 7 月 7 日（土）にサンフォルテで行いました。

文福のアルバイトや一般の方、他事業所から 10～70 代と幅広い世代の方々からの申し込みがあり、基礎課程は 12 名、追加過程は 7 名受講されました。

基礎課程は障害当事者、追加過程は障害当事者と外部から医師が講師をされ、重度身体障害者の地域生活や介助する時の心がまえ・人権・コミュニケーション・障害者や医師の立場からの医療的ケアなどの講義を受け、家事支援・車イスの移乗などの介助技術や外出の実習がありました。

講義や実習で積極的に質問されたり、スタッフとの関わりを通じて刺激を受けられたという感想が多く聞かれました。

次回は、基礎課程が 10 月 13 日（土）14 日（日）、追加課程が 10 月 20 日（土）になります。詳細と申込書については次号に掲載させていただきます。またホームページでもお知らせいたします。

最後に、受講された方々からのレポートの一部を掲載します。

- ・障害者の介助を体験して、障害者の指示は聞き取れても意図が分からない事が多々あると感じた。意図をくみ取る能力は言うまでもないが、これで良いかを逐一確認せねばと思った。（10 代男性）
- ・今回、障害者スタッフ宅に訪問実習させて頂き、目を見て、口を見て、手を見て、相手の言いたい事を読みとり、介助する事を教えて頂きました。（50 代女性）
- ・介護施設の現場と比較して、いろいろ考えさせられました。
ザ・カイジヨは、介護関係の有資格者にこそ、ぜひ受講してほしいと思います。（50 代女性）



Summer ぱんだ

Night 中止のお詫び

8月18日(土)に予定しておりました夢宙人企画「Summer ぱんだ Night」を今回、中止することになりました。毎年続けてきて、昨年は野外で行いましたが、諸事情により中止せざるを得なくなりました。楽しみにしてくださっている方々には誠に申し訳ありません。

今後とも夢宙人企画を宜しくお願い致します。



kaokaoのつぶやきNo5



世間ではこのところ旧優生保護法(優生思想)が、各新聞やテレビニュース等を賑わせています。

この旧優生保護法(優生思想)は、人権無視、人権侵害な法律でしたし、優生思想もいけない思想だと思っています。

皆さん、ご存知のとおりには私は若い頃、自らの意思で子宮摘出手術を受けました。それは優生思想に染まった日本の社会思想が、私達を介助する人達に、そして介助を受ける私達重度障害者に浸透していった結果だと思っています。ただ私の中には、「あの時、周りの優生思想に負けないで、重度障害者でもサポートさえあれば、結婚も出産も子育てもできるんだ！」という強い意志が無く、自分の意思で子宮摘出を望み、自分で自分の身体を傷つけたという自身に対する罪悪感は、今もずっと心の隅に有り続けているのです。

このところの一連の流れで、私にも沢山の取材がありました。私は「自分のような想いをする女性重度障害者はもう出てほしくない。優生思想は誰の心にもある。でも、その自分の中にある優生思想と向き合い、優生思想という魔物を、皆が真剣に考えてほしくて、そして、重度障害者も少しでも生きやすい世の中になるようにと、この一連の取材を通してちょっとでも変わっていかればと思ひ、沢山の取材に応じてきました。でも正直疲れてきました。取材する皆が皆そうだとは言いませんが、もう出来上がっているストーリー(箱)の中に私のインタビューを押し込んでいく、そんな新聞記事にもニュースにも疲れましたし、何より『私の人生で最大の汚点』だと思っている事を、見ず知らずの人に話していく作業に私は最近ほとんど疲れてきました。

それでもフーっと深呼吸しながら、この問題に取り組んでいきたいと思っています。

3年目のわたし

文福アルバイト 升谷 千春

文福にお世話になり早3年になります。『まだ、3年?』と思われる方もいらっしゃると思いますが、私にとっては、『早3年です』・・・と言うのも、私が文福で働かせてもらえると思ってもせず、まして、一ヶ月、半年、一年続けられるだろうか不安でしかありませんでした。

NPO 法人文福に興味があったのも事実ですが、たったこれだけの動機、理由で文福にいても良いのかなと感じています。←表情では気がつかないと思いますが、見かけによらず小心者なんです。(笑)

そんな私が、今も続けていられる理由は、文福だいすき、スタッフ大好き!!につきます。教わる事は財産になるし、学ぶことは勉強になります。決して損する事はないと思います。わからない・知らないからこそ、皆さんに助けていただいているのだと感じています。

毎週火曜日の文福食堂では、食堂当番の方が、アイデアや予算など考えながら作られますが、見事にレシピがかさならず、同じように作りたくなるメニューが沢山あります。数々のレパートリーがあるので、文福食堂レシピ本として是非、製作、出版おねがいします。

障ちゃんニュースは、編集会議後、題材、原稿しめきり、宛名のシール貼り、封筒作り、のりづけの発送作業をしています。毎月の障ちゃんニュースが完成するまで、大勢のスタッフに関わり郵送されるわけですが、勿論和気あいあいと、話しに夢中になりしばし作業の手がとまることも、多少なりとあるとかないとか・・・

そんな、障ちゃんニュースを、毎月、楽しみに待っていただけたら幸いです。

4年目、また、お世話になります。



「麻原彰晃の死刑に思う」

八木勝自

(下記の文章は、私がある人にメールで送ったものに修正、加書したものです。)

麻原と合わせると 7 人も死刑にされました。昨日 (7 月 6 日) に国が行った死刑はオウムが行った事件(犯罪)とひとつも変わりません。組織防衛か国による国家防衛か。

もちろんのことオウム事件は、無差別に人を殺しましたが、国家も時として、戦争を起こして無差別に人を殺しています。そして、死刑制度にも犯罪抑止力は無いというデータもあるし、今は自殺ができないから殺人事件を起こすということも結構増えているように思います。

それに演技かまことかわかりませんが、麻原は裁判途中からや牢獄でも意志疎通や会話ができない状態だったと言います。もしそれが本当だったとしたら、そんな者を死刑にするということは個人的な罪を補うということには何の意義も無く、精神障害者を差別した疑いさえあります。

また、今、麻原を死刑にしたということは、社会でも教団内部ではなおさらのこと麻原が 6 人の弟子を従えて死刑になったということで、神格化させてしまうのではないかと思うのです。その神格化とは意味合いが違いますが、イエスキリストが罪を背負って死刑になったのと同じの感覚です。そして最後に、1 番怖いのはオウム真理教が何故多くの人を集め、無差別テロを起こしたかは全く解明されていないし、麻原彰晃が神格化されることによってまた教団関係者が第 2 第 3 の無差別テロなどを起こしてしまうことなのです。



◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

- ◎ **日本障害フォーラム（JDF）障害者権利条約
パラレルレポート公開フォーラム 講演とディスカッション**
日 時 8月4日（土）13：00～16：30
場 所 サンシップとやま 1階 福祉ホール
主 催 日本障害フォーラム（JDF）富山障害フォーラム（TDF）
《講演》「日本障害フォーラムの障害者権利条約パラレルレポート作成の
取組について」
1. JDFパラレルレポート特別委員会の取組について
2. パラレルレポートの作成について
－国連にどんな言葉を届けるか－
《パネルディスカッションと意見交換》
「いきいきと耀く富山県づくり条例施行後3年目の成長とこれからの取
組を考える」
お問い合わせ 富山県障害者（児）団体連絡協議会
TEL（076）441-6302
- ◎ **障害児も普通の学校へ～富山交流会**
日 時 9月16日（日） 13：30～16：00
会 場 富山市総合社会福祉センター 3階 大ホール
参加費 一家族500円 保育あり
問い合わせ先 あっぷっぷの会 代表 藤井たき子さん
076-438-3078
090-8264-7958（携帯）

◎ **重度訪問介護従事者養成研修「ザ☆カイジョ」**

・ **基礎課程** 10月13日(土) 9:00~17:30

14日(日) 9:00~17:00

サンフォルテ 303号室

・ **追加課程** 10月20日(土) 9:00~18:00

富山県民会館 707号室

主催 NPO法人 文福

※詳細については次号に掲載します。

◎ **見えない・見えにくい人のための生活便利グッズ 展示&相談会**

日時 10月21日(日) 10:00~16:00

場所 チューリップ四季彩館 ホール2 (砺波市中村100番地1)

内容 ◆展示コーナー 拡大読書器・よむべえ・白黒反転まな板ほか

◆体験コーナー 喋ってくれるパソコン・スカイプなど

◆相談コーナー 拡大読書器等の機器使用に関する相談など

◆盲ろうコミュニケーション体験

問い合わせ先 視覚障害者ITサポートとやま (Bitsとやま)

TEL 090-2378-6944 (入江さん)

◎ **文福からのお知らせ**

6月は運営会議はありませんでした。

8月13日(月)~16日(木)お盆休み

※14日(火)の文福食堂はお休みです。

ありがとうコーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



最近は、痛ましい事件や西日本豪雨があり、被害に遭われた方々には心よりお見舞いを申し上げると共に、亡くなられた方々には心よりお悔やみを申し上げます。

* 新規・継続会員 *

瀬戸紀美子さま 上田孝子さま 河上千鶴子さま 村上隆さま 居石真理さま
久保ゆかりさま 吉田彰さま 中村薫さま 森田知恵さま 吉田健太さま
大野啓子さま 松岡淑子さま 山岸弓恵さま 升谷千春さま 八木勝自さま
武田博さま 福田文恵さま 先祖貴代さま 能登泰子さま ありがた家さま
吉川行唯さま 山本夕起子さま ありがとうの家さま 坂幸夫さま 鈴木栄さま
松浦義和さま 掛田博子さま 中林文夫さま 丸山進さま 吉塚まり子さま
島崎真美さま・敬悟さま 小川毅さま 岩脇克己さま 加藤正之さま 塚本聡さま
河原登喜のさま 寺島裕佳子さま 珍部千鳥さま 加賀成美さま
長谷川淑子さま 水島俊雄さま 利光恵子さま ハツ橋晃さま 神山夕央さま
松井三代子さま 佐々木量子さま 遠藤厚子さま

* カンパ *

山本夕起子さま 河上千鶴子さま

* 物品提供 *

瀬戸紀美子さま 澤則雄さま 田中直美さま 渡辺 明子さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3
e-mail:bunpuku@arrow.ocn.ne.jp
HP: http://bunpuku.org/

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。